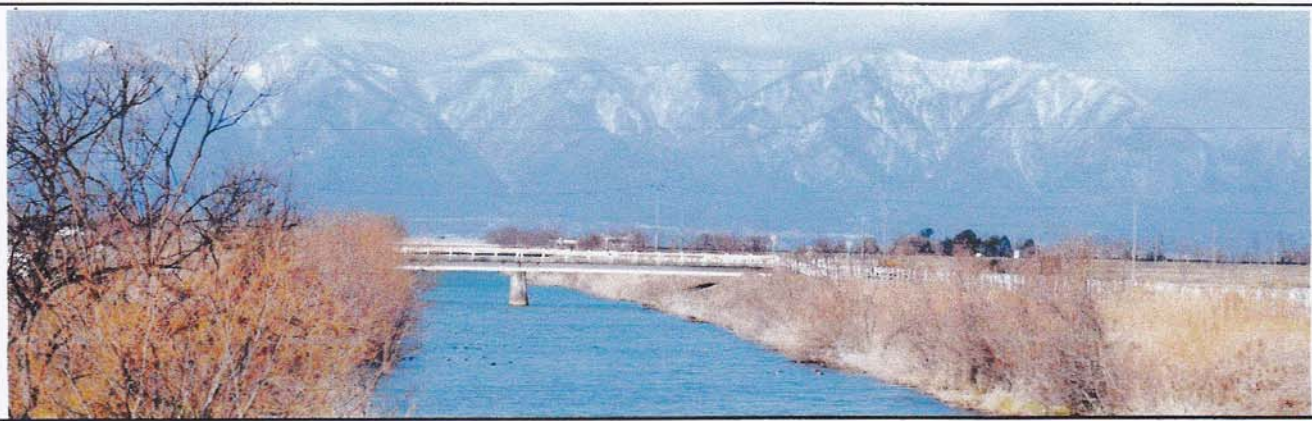


近江八幡
白鳥川新聞



桐原東小学校五年生による白鳥川清掃活動

十一月五日の午前十一時、児童代表十名は、白鳥川沿いに清掃活動を行いました。この活動は、環境省が主催する「清流再生」の一環として行われ、全国的に「清流再生」の推進を図るために行われます。当日は、晴れやかな秋の風景が、清掃活動の風景を映し出し、子どもたちの清掃活動が、白鳥川の清流を再生する一助となると期待されています。

清掃活動の様子を、以下に紹介します。

1. 清掃活動の開始：児童代表十名は、白鳥川沿いに清掃活動を開始しました。この活動は、環境省が主催する「清流再生」の一環として行われ、全国的に「清流再生」の推進を図るために行われます。

2. 清掃活動の進行：児童代表十名は、白鳥川沿いに清掃活動を行いました。この活動は、環境省が主催する「清流再生」の一環として行われ、全国的に「清流再生」の推進を図るために行われます。

3. 清掃活動の終了：児童代表十名は、白鳥川沿いに清掃活動を完了しました。この活動は、環境省が主催する「清流再生」の一環として行われ、全国的に「清流再生」の推進を図るために行われます。

桐原東小学校五年生による白鳥川清掃活動

白鳥川の景観を良くする会

生き物発見 学習支援班 編集 鈴木



景観隊よりコースと注意事項の説明

活皆活 以ゴ時あ夕意なに
動き動 景外ミ間っイ外ど清最
をんを 観と拾がたヤと聞掃後
さをの 見隊楽いあのがゴか活に
れびて がしがれで4ミれ動先
ての感 児かでば驚本がまで生
いびじ 童つきもいも多した感
たとた のた た た 捨 したら
。清事清 。と 。てあ 。た
。掃は掃 掃 掃 掃 掃 掃 掃



分別され回収されたゴミ、タイヤが4本もありました。



いテ観 マ景が S マコイ
をイを イ観あ I 吉イミモ毎
スア良ク隊り氏田ルユ煮年
ピ活くを持人しリの代でニ会恒
チにるちづた。の催イテが例
し関会一つ。ド。挨さカ十二の
しますー白(全員にま月四
た熱ボ川員が が全員にま月四
。いラの が全員にま月四
思ン景



清掃活動を終え帰路に ありがとうございます

白鳥川流域

冬季野鳥特集



マガモ(冬鳥) 撮影 H.26.3.1



ツグミ(冬鳥) 撮影 H.26.1.22



カワセミ(留鳥) 撮影H.26.1.26

【カワセミに学ぶ】
水辺の宝石と言われるカワセミ(ヒスイ)の名が付けられている。第六号白鳥川新聞の記事に掲載されました。なるべく重複を避け補足説明を入れます。

【カワセミに学ぶ】
カワセミのヒスイ色は色素によって発色するのでなく、羽毛にある微細構造によって反射させ、鮮やかな色彩を現している。繊維など材料分野で注目されている。このような研究を生体模倣技術(バイオミメティクス)という。500系新幹線のノーズデザインも、カワセミのくちばしがモチーフに使われています。ちなみに水中の魚を捕るのに時速約100キロメートルで水中にダイビングするそうです。

【ひと目でわかる野鳥】
図鑑参照



カンムリカイツブリ(冬羽) 撮影H.26.2.1



コガモ(冬鳥)撮影 H.26.1.22



ホオジロ(留鳥)撮影 H.26.1.22

俳句
一般の部(景観隊以外)

かわせみや
白鳥川に
春を待つ

谷口氏 作

みんなの広場



みんなの広場

白鳥川早朝ウォーク
近江八幡市に住いを移して五年がすぎました。
こちらへ住む事を決めたのは孫が当地にいたので宝塚市から中国道、名神経由で瀬田西で高速を降り琵琶湖の湖岸道路をゆっくりドライブしながら近江八幡へのコースを辿るのが習慣になっていました。したが、湖岸の周遊ドライブはなんととも言えないほど楽しく特に空の大きさが気分を爽快にしてくれ、琵琶湖と比良山脈、田園風景など共に自然の美しさに魅かれたからでした。
そして引越した住まいが白鳥川のほとりでした。
以前から早朝ウォークが日課になっていましたので引越した二月からスタート、川沿いのサイクリング道路を4kmほど歩いた後に朝食と言うパターンが定着してきました。
二月の早朝歩きは厳しい寒さで大変ですが白鳥川岸から琵琶湖越しに見る朝焼けに染まった雪の比良山の素晴らしさには寒さも吹っ飛んでいきます。
早朝ウォークもかれこれ二十五年ほどになります。自然豊かな白鳥川沿いをこれからも歩き続けていきたいと思っています。

t y 記